

明治維新後、愛知の医療に尽力した医師ら



伊藤圭介らが建議した医学校と病院はやがて開設され、1876年、愛知県はドイツ医学を採用。それに伴い愛知県公立病院に着任したオーストリア人の医師ローレツは、外科手術や洋式病院と医学校新設の基盤づくりに貢献しました。

翌年、三等医として勤務し始めた後藤新平は、ローレツの下で直に西洋近代医学に触れ学びました。優秀だった後藤新平は、24歳で公立病院長兼公立医学校(現・名古屋大学医学部)校長に就任。その後、東京市長、内相、外相など多くの要職に就きました。

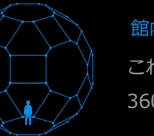


後藤新平とローレツ

館内企画展アーカイブ

バーチャル展示室

THE VIRTUAL
EXHIBITION ROOM 360



館内企画展アーカイブ **バーチャル展示室360** > <https://www.tcm.it.org/360virtual/>

これまでにトヨタ産業技術記念館で開催した企画展をご紹介します。デジタルアーカイブです。

360度VRコンテンツで、臨場感溢れるバーチャル展示をお楽しみください。



トヨタ産業技術記念館

当サイトに掲載の記事・写真の無断転載を禁じます。

Copyright(C) Toyota Commemorative Museum of Industry and Technology All rights reserved.